

今後の公開ディスカッションの開催に向けて

H26. 4. 23

規制改革会議においては、これまで試行的に2回にわたり「公開ディスカッション」を開催したところ。これまでの開催実績を踏まえ、今後の開催の在り方について検討を行うこととする。

1. 開催実績

- 第1回：平成25年11月28日（木）14:00～17:15
 - ①保険診療と保険外診療の併用療養制度
 - ②老朽化マンションの建替え等の促進
- 第2回：平成26年3月25日（火）13:00～16:00
 - ①介護・保育事業等における経営管理の強化とイコールフッティング確立
 - ②労働時間法制について
- 会場：中央合同庁舎4号館2階220会議室
(一般傍聴約20名、報道関係約50名、各省傍聴約20名の席を準備)
- 広報
 - 報道機関の傍聴及びカメラ撮影を会議中隨時可とした
 - ・傍聴は平均20～30人、テレビカメラは各回1社が取材
 - ・マスコミ報道（会議の実施、議論の内容等について）
 - 11/28 産経ニュース ウェブサイト
 - 11/29 日経新聞（朝刊5面）、朝日新聞（朝刊7面）
 - 12/7 テレビ東京「週刊ニュース新書」で映像使用
(稻田大臣、岡議長がゲスト出演)
 - 3/25 産経ニュース ウェブサイト
 - 内閣府HPにおいて一般傍聴者を募集した
 - ・申込平均20人弱、実際の傍聴は平均10人弱

- インターネット中継を実施した
 - ・内閣府トップページ→規制改革ページ→中継サイトへとリンク
 - ・内閣府公式Facebookページ、会議参加事業者HP等でも告知
 - ・アクセス数は第1回322件、第2回229件

- ・第2回終了後に記録画像を掲載、規制改革ページからリンク

2. 評価

- ・説明時間を守るよう徹底したことで議論の時間を確保でき、予定時間を数分超過で終了できた
- ・「混合診療」を見出しにした記事が多く、テーマによって報道量に差が出る傾向が見られた
- ・一般傍聴の申込は事前の想定（20人程度）に近かったが、実際の来訪者（平均10人弱）は少なかった
- ・インターネット中継の広報手段が限られていること等から、アクセス数が少なかった

3. 今後の開催方針案

○開催趣旨

- ・開催趣旨を再検討する必要があるかどうか

（これまでの開催趣旨）

国民にとって関心が高いと思われる分野における規制改革の検討課題について、公開の場において議論を行い、規制の多くが内包しているトレードオフの構造を明確にして論点を整理し提示することにより、規制改革の推進のための世論を喚起することを目指す。

○開催時間

- ・一般傍聴者の訪問しやすさの観点から、休日の日中（又は平日の夜間）に開催してはどうか

○規模、参加者

- ・傍聴者の規模をどの程度に設定するか

（これまで計100席弱（うち一般約20）を準備）

- ・議論の参加者を再検討する必要があるかどうか

（これまで委員・専門委員、担当政務、関係団体等、所管省庁）

○会場

- ・対外的なPR等の観点から、内閣府庁舎以外の会場を使用してはどうか

○調査

- ・実施内容の改善やテーマ選定等についてアンケート調査を行ってはどうか